



ゆずり葉だより

健康で
明るく
楽しく
暮らそう



ゆずり葉コミュニティ
ブログ・QRコード

逆瀬台小学校区
10,000人のまちづくり

編集・発行 / 逆瀬台小学校区まちづくり協議会 (ゆずり葉コミュニティ) 事務局・広報 (発行部数) 4,200部
(住所) 〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内
(Eメール) yuzurihacom@a.zaq.jp (連絡先) 石谷 TEL 20-5054
(掲示板) http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs (自由投稿版)
(ブログ) http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230
(ホームページ) http://yzrh.exblog.jp/ (TEL/FAX) 0797-73-8839

夏 第112号

令和5年度定例役員会(総会)について



定例役員会風景 (令和4年度)

令和5年度定例役員会(総会)は、コロナ及び諸般の事情により集まることを自粛し、報告事項2件と議案3件について書面表決を行い、役員全員賛成により、原案通り承認されました。なお、活動報告及び会計報告の内容については、前号をご覧ください。

ゆずり葉コミュニティ
会長 石谷

宝塚市の主導で、「逆瀬台小学校区まちづくり協議会」(通称:ゆずり葉コミュニティ)は、1995年6月24日に発足いたしました。当協議会の範囲は、光が丘、青葉台、逆瀬台1〜6丁目、ゆずり葉台。世帯数は4,131世帯、居住者数は約10,000人です。そして当地域では、2003年12月に初めて宝塚市に「市民と市の協働による『地域ごとのまちづくり計画』」具体案を提出し、2020年3月に見直し作業完了、2021年から計画実施作業に入っています。

逆瀬台小学校区まちづくり協議会 (ゆずり葉コミュニティ)とは?

「まちづくり協議会」の構成員は、「この地域のすべての住民と、関係者」(自治会、事業所、学校、民生委員児童委員など)の人たちで、自治会のような会員制ではありません。宝塚市が、1993年からコミュニティ課を設置し、おおむね小学校区(人口1万人程度)ごとに、20の「まちづくり協議会」を作りました。地域の中の個人や団体がつながり、地域の特性を生かして、自分達の「まち」を良くするための組織が「まちづくり協議会」です。

「ご存じですか?」「まちづくり協議会」のこと。



ご多忙のなか山崎宝塚市長もご来場されご挨拶を頂き、桜まつりをさらに盛況なものにしていただきました。また、3/26〜4/8の期間は、例年通り提灯による四丁目公園夜間ライトアップを行って夜桜見物もお楽しみ頂き、俳句や短歌を展示致しました。逆瀬台自治会の皆様、桜まつりへのご協力ありがとうございました。



また花づくりに興味のある方は一緒に花壇づくりをしませんか、皆様のご来場をお待ちしています。

当日は暑いくらいのお花見日和となり、満開の桜を存分に楽しんで頂けました。尺八演奏、女性コーラス、男性コーラス、そして紙芝居と盛り沢山なイベントもあり、大人も子供も桜の下で楽しい一日を過ごすことができました。花見弁当、飲み物、花苗などの販売もあり、お花見気分も盛り上がったのではないのでしょうか。ご多忙のなか山崎宝塚市長もご来場されご挨拶を頂き、桜まつりをさらに盛況なものにしていただきました。また、3/26〜4/8の期間は、例年通り提灯による四丁目公園夜間ライトアップを行って夜桜見物もお楽しみ頂き、俳句や短歌を展示致しました。逆瀬台自治会の皆様、桜まつりへのご協力ありがとうございました。

1, 自然を生かした健康長寿のまちづくり (まちづくり計画) NO.4, 5, 6, 7

地域住民がお互いに声を掛け合い、助け合って地域内裏山、公園、花壇、公共用地の樹木や花の補植、清掃を行い、居住環境の保全・育成を図る。「地域緑化モデル地区指定花壇」として整備する。また公園アドプト制度の導入を推進し健康遊具を設置するため「公園リノベーション事業」を継続する。

「まちづくり計画」令和5年度の重点活動

ただ：花壇のある場所は元々は逆瀬川と白瀬川の河原で五〜六十センチ掘り下げれば川原石が出てくる状態で、水捌けが良過ぎ保水性に欠けるため夏場の水やり当番はひと苦労で10名のメンバーが交代で毎日2時間かけて水やりを行い素敵な花壇を維持するのがひと苦労です。それでも『綺麗ですね♡♡』のひと声が励みになり、『良かったら、どうぞ♡♡』とお花をお裾分けしています。これからも、花と緑で街を美しくする活動を続けて、地域はもとより、ゆずり葉コミュニティの皆様の憩いの場になればと思っています。是非とも『県道明石・神戸・宝塚線沿い』グリーンハイツ内に在る、花壇にお越しください。

(2) 花と緑で街を美しくする活動

逆瀬川グリーンハイツ・グリーン愛好会は、阪神淡路大震災で荒れ果てたマンション内に在る宝塚市の管理地が余りにも荒れ果てた状態になっていた場所の草取りをしたことからスタートしました。大震災で犠牲になった方々や幸いにして危機を脱したものの、復興にはほど遠く落ち込んだ私たち自身をも『花を植え、花を育てる』ことで地域住民の皆様が明るく希望を持っていただける場所になりたいと震災後現在まで約28年花と緑で街を美しくする活動を続けています。メンバーは10名で、自治会『グリーン愛好会』として活動、春・夏・秋・冬とそれぞれ季節にあわせた花作りをしています。毎年あらたな花も加え、少ない予算の中で咲かせた花の種を季節毎に各自が自宅で発芽させ、それを花壇に植え付けるといふ地道な活動ながら季節に合わせた花々を咲かせ、それを楽しみに来られる方や散歩の途中に休憩される方々も増え、『きれいですね』の一声が励みになっています。

逆瀬川グリーンハイツ自治会 会長 濱崎